

気温が高い場所でも育てやすい 岡山オリジナル lindou 品種



図1 遮光栽培で育つ lindou

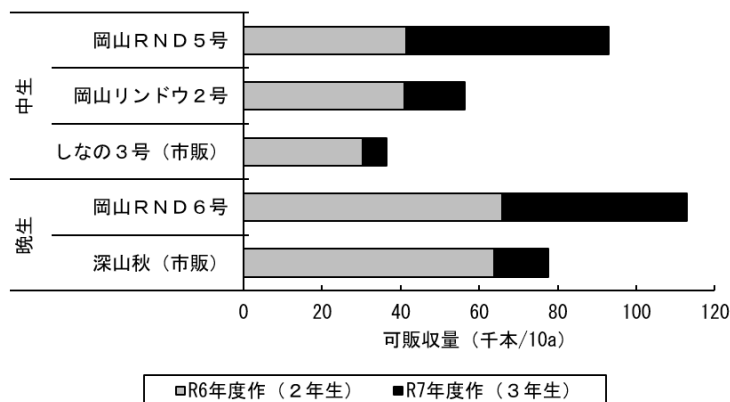


図2 遮光下での可販収量

開発のねらい

lindou は涼しい気候を好むため、気温が高い場所では花や葉が傷み、株が枯れることがあります。一方で、近年は既存産地より高温になりやすい県中北部の低標高地での栽培への関心が高まっています。そこで、低標高地でも育てやすい品種や育て方を明らかにしました。

新技術の概要

- 畑の上に遮光資材を張って日差しを和らげると、高温による花の色むらや葉の傷み、株枯れを抑えられます (図1)。
- 岡山県のオリジナル lindou 「岡山RND5号」と「岡山RND6号」は、遮光した条件でも規格外の花が出にくい品種です。
- この2品種は、同じ時期に咲く市販品種より出荷できる花が多く、気温が高くなりやすい場所での栽培にも向いています (図2)。

活用場面

試験は赤磐市の農業研究所 (標高23m) で行いました。既存産地より気温が高くなりやすい場所で lindou を育てるときに役立ちます。畑の上に遮光資材を張って日差しを和らげることで、花や葉の傷みを抑えることができます。